

古代③「飛鳥・奈良時代」

奈良時代 A

🕒 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

710年に、あ平城京に都が移され、奈良時代が始まった。この時代の人々は、戸籍にもとづいて、い口分田をあたえられ、う税などを負担した。重すぎる負担からのがれるために、田を捨てて逃亡する者もあった。

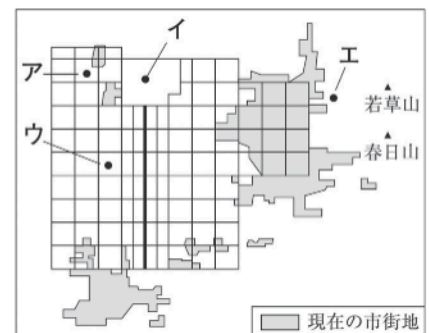
人口が増加したり、災害で田が荒れたりすることで口分田が不足するようになると、朝廷は開墾を奨励した。743年には墾田永年私財法を出して（え）を認めた。貴族や寺社は開墾に力をいれ、私有地を広げた。

奈良時代には、唐の文化や仏教の影響を受けた文化が栄えた。（お）は仏教の力で国を治めようとして、国ごとに国分寺と国分尼寺を、都に東大寺を建てて、大仏をまつた。東大寺の正倉院には（お）の遺品などが収められ、そのなかには（か）を通じてインドや西アジアから伝わった品もある。また、この時代にはき歴史書や和歌集などの書物もつくられた。

(1) 下線あについて、次の問いに答えなさい。

- ① 右の図は、この都のようすを表している。天皇の住まいが置かれた場所を図中から1つ選び、記号で答えなさい。

[1]



- ② この都について述べた文として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 唐の都にならってつくられた。
 イ 都には天皇や貴族だけでなく、位の低い役人や庶民もくらしした。
 ウ 都の市では物々交換が行われ、売買に貨幣は用いられなかった。
 エ 都には唐招提寺など多くの寺がつけられた。

[2]

(2) 下線いは、だれにあたえられたか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 6歳以上の男女 イ 6歳以上の男子
 ウ 12歳以上の男女 エ 12歳以上の男子

[3]

次ページにつづく▶▶▶

(3) 下線うについて、次の説明にあてはまる税を何というか。

① 各地の特産物を都まで運んで納める。

[4]

② 都で労役をするかわりに麻布を納める。

[5]

(4) (え) にあてはまる墾田永年私財法の内容を簡単に答えなさい。

[6]

を認めた。

(5) (お) に共通してあてはまる天皇について、次の問いに答えなさい。

① この天皇はだれか。

[7]

② この天皇のころに栄えた文化は、当時の年号（元号）から何というか。

[8]

(6) (か) には東西を結ぶ交通路があてはまる。この交通路を通過して、中国の絹が西に運ばれたことから、この交通路を何というか。

[9]

(7) 下線きについて、歴史書の組み合わせとして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 『風土記』と『万葉集』 イ 『風土記』と『日本書紀』

ウ 『古事記』と『万葉集』 エ 『古事記』と『日本書紀』

[10]